



NO.

# いちよ

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

## 十一面観世音の応作 大聖歓喜天

住職 平田真純

当山に聖天さまが降臨された因縁は、この地方が大干ばつに襲われたときの救済のためであったと伝えられています。「待乳山聖天宮略縁起」にそのくだりが次のように記されています。

「……風雨時を失い、百穀実らず、炎熱燃るが如くなれ共、地上一滴の水なく、万民の苦惱、阿鼻叫喚に過たり。爰に十一面観世音の応作、大聖歓喜天、衆生悲愍の慈眼を開き、拔苦与樂の妙用を顕わして此の山に降臨し、天下万民悩乱の苦を救済し給う。是れ尊天鎮座の起原なり。……」

個人的なお願いがごとが祈願されることも多い聖天様ですが、そもそもは天災から人々を救うためにお降りあそばされています。多くの苦しむ人々の祈願、要望にこたえてのことでしょう。

文中、「十一面観世音の応作、大聖歓喜天」という言葉があります。「応作」とは「応化」「応現」ともいい、仏・菩薩が衆生を救うために、いろいろな姿を変えて

出現することです。したがってここでは、十一面観世音菩薩が、大聖歓喜天（聖天様）に姿を変えて、衆生を救済されたということになります。

そのお姿から、聖天様とインドのガネーシャ神を同一視される方もいらっしゃると思いますが、実は異なる御尊体と考えていただいた方がよいでしょう。私たちの祈願においては、十一面観音様の化身であることがとても重要なのです。

この上なく慈悲深い十一面観音様には、古くから帰依する人々はすこぶる多く、我が国にも全国各地に数えきれないほどの御尊像が祀られています。その深いご慈悲から、さらに強いお力を発揮する必要に感じ、聖天様のお姿となつてご出現されたのです。

あくまで私的な感覚ですが、十一面観音様には、救いを待つのではなく、「こちらから、「お願いします」と、より能動的にお頼りするのがよいかもしれません。そこが聖天様信仰にもつながるところではないかと思えます。コロナ禍で直接参拝できない方も多くいらっしゃるとは思います。ぜひご自宅でも、お札に、あるいはこちらの方角に向かって積極的な気持ちでお祈りをしてください。

# 待乳山便り

十一月御縁日大法要 行事紹介

## 写経供養会

十一月八日(日) 午前十一時三十分

十一月八日、写経供養会を執行いたします。

例年ですと、年度ごとに会員の皆様が奉納されたお写経を本堂ご宝前にて供養する法要ですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和二年三月から八月まで写経の会は中止となりました。そこで本年は令和一年十一月と令和二年二月までの4カ月分と再開後の2カ月分をご宝前にて供養いたします。法要は当山僧侶のみで執り行い、ご信徒・会員の皆様方におかれましてはご自宅でのお勤めをお願い致します。



巻数ごとの表彰、記念品の授与も本年は見送る形となります。表彰対象者の表彰につきましては、来年以降に延期といたします。また講金志納もございません。

法要の様子はインターネットで配信いたします。

## 豊講

十一月二十日(金) 午前十一時

講金 一、五〇〇円

今年も残すところあと2か月。毎年この時期に

当山ではご信徒の皆様方からご寄進いただき、本堂をはじめ、豊替えをいたします。

新しいイグサの

香りがする本堂は清々しいものです

豊講ではお申込された皆様の家内安全、諸願成就を祈願する大般若法要を執行いたします。

豊講の翌日から二、三日間程度、本堂内の豊の張替作業を行います。通常通り御参拝はできますが、多少ご不便をおかけします。どうぞご了承くださいませ。

なお新型コロナウイルス感染拡大防止のため、法要は当山僧侶のみで執り行います。ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤めをお願い致します。また法要の様子はライブ中継を予定しておりますので詳細はホームページをご覧ください。



## お知らせ

① 令和二年正月のお参りに関して新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、三密を避けるため、以下の行事を中止いたします。

- (一) 『正月特別祈祷』 (三が日)
- (二) 『お屠蘇接待』 (三が日)
- (三) 『大根まつり』 (正月七日)

右記以外の年末年始の行事等に変更がある場合、いちようとホームページにて随時お伝えいたします。

### ② 御札、お守りのお預かりについて

コロナ禍の影響でご参拝にお越しにならない方のため、今年の正月からの御祈祷札、お守りをお預かりしておりました。しかし参拝の再開から数ヶ月が経ちましたので、十月末を持ちまして本年六月までの札守りをお焚き上げいたします。今後は平常通り三か月のお預かりとなります。

※お札のお受け取りが難しい場合は、お送りもしくは、お預かりの延長を寺務所までご連絡ください。

# 星まつり受付案内

翌年の除災延命を祈願する星まつりの受付を寺務所にて開始いたしました。用紙に氏名年齢をご記入の上、お申込みください。

講金 一、五〇〇円(御一人増毎五〇〇円)

## 御奉納

(株)鈴正様より椅子を三十脚ご奉納いただきました。額堂を始め、様々な場所でも活用させていただきます。



日本環境衛生技研株式会社様より、空間除菌に使う加湿器と消毒液をご奉納いただきました。法要の際の感染対策として利用しております。



## 仏器について

皆様は普段つぶさに見る機会が少ないものと思えますが、当院において法要の際に使う仏器について一部をご紹介します。

### 洒水器

洒水とは、香水を灑いで身心の穢れを除き、また道場や供具を清めることを言います。その香水を入れる容器が洒水器です。

### 五鈷杵

いかなる煩惱も打ち砕く法具で、五つの切先は大日如来の五つの智慧をあらわしております。

道場や供具のお加持に使います。

### 柄香炉

仏様を礼拝するときや、法要中、式文や声明を唱えるときに持ったための柄の付いた香炉。百味法要の際は壇上に置いて礼拝します。

### 火舎香炉

中央に置く香炉。経本やお加持した御札、御守りの薫香の際にも使います。

### 華瓶

華を挿す瓶。法要壇には五輪菊を挿しています。

### 飯器

お供えの仏飯を乗せる器。当院では御縁日法要の日にはお赤飯をお供えします。

### 打ち鳴らし(鈴)

法要の始めと終わりの合図や、読み上げる際の区切りで鳴らします。

### 六器

お供え物の器。法要の種類によって、両脇から

順番に華、塗香、鬘伽(お香を煮出して作った清浄な水)をお供えする場合と、六つの器すべてにお花をお供えする場合があります。

### 香盒

焼香を入れる入れ物



飯器

打ち鳴らし(鈴)

五鈷杵

香盒

# 十一月行事予定

## 御縁日大法要

**写経供養会** 十一月八日(日) 午前十一時三十分

この一年で奉納された写経を供養します。

**御畳講大法要** 十一月二十日(金) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

本堂の御畳替えのご寄進をお願いいたします。

**朝まがり会** 十一月一日〜七日 午前八時から八時半 会費 五〇〇円也

各日定員十名、事前申込制。十五日より予約開始

**写経の会** 十一月八日(日) 午前十時 会費 五〇〇円也

定員三十名、事前申込制。十五日より予約開始

**日曜勤行  
坐禅の会** 中止となります。  
中止となります。

**合同大般若法要** 十一月二十五日(水) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

### 二月の行事

**御開扉** 十二月八日(火) 午前九時〜午後二時 参拝 無料

**星祭大法要** 十二月二十一日(月) 午前十一時

法要ライブ中継リンク

[matsuchiyama.jp/houyoulive.html](http://matsuchiyama.jp/houyoulive.html)



朝まがり会ライブ中継リンク

[matsuchiyama.jp/zasamairi6.html](http://matsuchiyama.jp/zasamairi6.html)



## ご祈祷のご案内 祈祷料

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力により一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

### 法要案内

別座祈祷 壱万円(一週間)  
浴油祈禱 三千五百円(一週間)  
華水供 五百円(一日)

### 百味供養 法要料 八万円

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

### 大般若法要 法要料 五万円

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

### 自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知らせになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) またメールをお送りください。